

◎ヤケ苗・ムレ苗に要注意!!

5月上旬から中旬は、気温の変化が大きく、ヤケ苗やムレ苗が発生しやすい時期になります。生育ステージに合わせた温度管理を徹底しましょう。

- 太陽が出るとハウス内温度が急激に上がり、苗がヤケやすい状態になるため注意しましょう。
- ムレ苗は8℃以下の低温や35℃以上の高温時に発生しやすくなります。

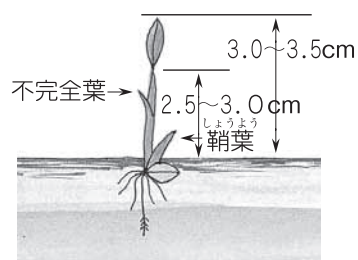
【ハウス内の温度管理】

生育ステージ	温度管理	
緑化期	日中	20～25℃
	夜間	15～18℃
硬化期	日中	15～20℃
	夜間	10～15℃

◎徒長苗を防ぎましょう!

- 被覆シートをはがす時期は「第1葉が完全展開」、「草丈3.5cm」のタイミングです。はがすタイミングが遅れると徒長苗になりやすいため、こまめに確認を行い適期にシートをはがしましょう。

【除覆時の理想図】



＝ 移植前追肥 ＝

移植後の根付きを良好にし、初期生育の促進・良質茎を確保!

施用時期：田植え4～5日前頃

- 硫酸：5g/1箱（窒素成分で1～2g/箱）
- くみあい液肥2号：200倍以上に薄めて施用

【液肥200倍液例】

箱数	液肥	水の量
1箱	5ml	1ℓ
10箱	50ml	10ℓ
100箱	500ml	100ℓ

＝ 箱処理剤 ＝

育苗箱施用剤で葉いもち防除!

品名	使用量	使用時期	使用方法	適用病害虫名
Dr. オリゼ フェルテラ粒剤	50g/1箱当り	緑化期～ 移植当日	育苗箱に均一に散布	いもち病・初期害虫・イネアオムシ（フタオビコヤガ）等
Dr. オリゼ プリンズ粒剤6	50g/1箱当り			いもち病・初期害虫・ウンカ類・イナゴ類等

- 葉が濡れていない状態で均一に散布してください。
- 散布後は葉ヤケ防止のために、葉に残っている薬剤を払い落としましょう。

携帯メール会員募集!!

無料（通信料は除く）でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記QRコードをご利用ください。➔



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課 (TEL777-3786) までお問い合わせください。

＝ 田植え ＝ 5月20日～25日頃を目安に行いましょう!

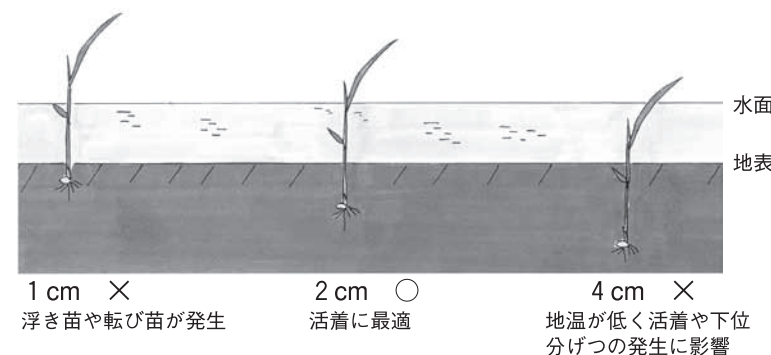
田植え時のポイント

①. 1株苗数は3～4本

植え付け本数が多いと過繁茂になって茎が細くなり、倒伏や品質低下につながりますので注意しましょう。

②. 植え付け深さは2～3cm

深植えは分けつの発生が抑制され、初期生育が劣ります。また、浅植えは浮き苗や除草剤の薬害発生の原因となります。



補植は速やかに!

余った苗（補植苗）を圃場に置いておくと、いもち病の発生源になります。補植する場合は速やかに行い、使わない苗は圃場外へ除去（苗を裏返しにする等）しましょう。

※除草剤散布後は補植を行わないようにしましょう。

＝ 初期生育を高める水管理(田植え後) ＝

水位	活着前			活着後～中干し	水位
	通常時	好天時	低温・荒天時		
やや深水管理 (3～4cm)	浅水管理 (2～3cm)	深水管理 (7～10cm)	やや浅水管理 (2～3cm)		
・低温や風による植え傷みを回避	・水温を上げ、早期活着を促す	・保温に努める	・水温を上げ、分けつの早期発生を促す		

◎「水温上昇」がポイント!

- 好天日は浅水管理を行い、活着・分けつの促進・良質茎の早期確保を図りましょう。
- 水の更新を行う場合は入水を早朝に行い、日中は水温上昇を図りましょう。

水は限りある資源です。用水は大切に使い、かけ流しは絶対に行わないでください。



～早朝田植え指導会のご案内～

- 日程：5月10日(火)
- 時間：午前6時30分～ ※30分程度の予定です。
- 場所：六日町カントリー前（津久野下新田17）
大和カントリー前（九日町4021-1）

除草剤（初期剤、初・中期一発剤）

① 水管理で長い効き目！

- ラベルに記載されている水深まで湛水し散布しましょう。
※除草剤により適切な水深が異なるため注意してください。
- 田面が露出する前にゆっくりと入水しましょう。
※入水の際は水をあふれさせないように注意してください。

② 事前の本田準備で効果を高める！

- 田面の凹凸は除草剤効果の低下や葉害発生の原因になります。耕うん・代かき時にできるだけ田面を均平にしましょう。
- 畔塗りをを行い、漏水を防ぎましょう。（本田から薬剤、水の流出を防ぐ）

散布時の注意点

- 散布する際は、水口と水尻をしっかりと止めてください。
- 散布後7日間は入排水を行わないでください。
（田面が露出する場合は、ゆっくり入水する）
- 除草剤を移植前に散布する場合は、移植7日前を厳守してください。

【除草剤の散布日数え方】

商品例	日付例	5月13日	5月14日	～	5月19日	5月20日		5月21日	5月22日	～	6月19日まで
	数え方	7日前	6日前	～	1日前	田植日(0日目) 移植時	移植直後	1日後	2日後	～	30日後
草笛フロアブル ・代かき後～移植7日前※注1 ・移植時 ・移植直後～ノビエ1葉期 (但し、移植後30日まで)		○ ※注1	×	×	×	○	○	○	○	○	○

商品例	日付例	5月20日		5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	～	6月19日まで
	数え方	田植日(0日目) 移植時	移植直後	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	～	30日後
トップガンLジャンボ ・移植後3日～ノビエ2.5葉期 (但し、移植後30日まで)		×	×	×	×	○	○	○	○	○

※注1 代かき～移植までの期間がやむを得ず7日以上開く場合に散布可。

基肥

【基肥肥料の施肥機設定目盛りについて】

	肥料名	仮比重	設定目盛り (kg)							施肥量目安	成分量 (%)		
			20	25	30	35	40	50	60		チッソ	リン酸	カリ
粒状	田植え機標準表示 (基準)	0.9	20	25	30	35	40	50	60	30～40kg	12	15	12
	有機30魚沼口マン側条専用粒状	0.9	20	25	30	35	40	50	60	30～40kg	12	15	12
	有機30魚沼口マン500号	0.7	26	32	39	45	51	64	77	20～30kg	15	10	10
	有機30魚沼口マン元肥一発	0.7	26	32	39	45	51	64	77	30～40kg	15	8	7
	魚沼口マン有機専用	0.9	20	25	30	35	40	50	60	30～38kg	10	14	10
	魚沼口マン有機一発285	0.8	23	28	34	39	45	56	68	45～50kg	12	8	5
ペースト	アグリフラッシュ444	0.9	20	25	30	35	40	50	60	20～30kg	14	14	14
	魚沼口マンペーストS220 (基準)	1.4	20	25	30	35	40	50	60	施肥量目安	チッソ	リン酸	カリ
	有機30魚沼口マンペーストS043	1.2	23	29	35	41	47	58	70	30～40kg	10	4	3

表の見方

肥料の銘柄ごとに比重が異なります。（基準より比重が重いと多く落下する）左表を目安に施肥機の設定目盛りを設定しましょう。

～目盛り設定例～

○有機30魚沼口マン500号を30kg/10a施肥したい。
→左表より、有機30魚沼口マン500号は基準よりも比重が軽いため、肥料が落ちにくくなります。したがって、30kg/10a施肥したい場合は、目盛りを39kgの設定にします。

難防除雑草“クログワイ”対策

6月上旬頃からダラダラと発生します。地上部分を枯らしても、土壌中に多数の塊茎（イモ）が残り、その塊茎が次年度以降の発生源となります。

時期	移植直後	5月下旬～6月上旬
雑草生育ステージ	初期雑草	クログワイ発生始期
除草剤名	草笛フロアブル (2成分) ・代かき後～移植7日前 ・移植時 ・移植直後～ノビエ1葉期まで	シリウスターボ1キロ粒剤 (4成分) 移植後5日～ノビエ2.5葉期。但し、移植後30日まで
説明	初期除草剤で発生前～発生始期の雑草を防除する。	発生始期のクログワイを防除する。その他雑草にも幅広い効果がある。

6月中旬	～残り
クログワイ20～30cm	クログワイ20～30cm
ハイカット1キロ粒剤 (4成分) 移植後15日～ノビエ3.5葉期。 但し、収穫60日前まで	ワイドアタックSC (1成分) 移植後20日～ノビエ5葉期。 但し、収穫30日前まで
クログワイが20cm程度になったら散布。完全に効果が出るまで1ヶ月ほどかかるが、クログワイを塊茎から枯らす。	残っている雑草（クログワイ）を防除する。※液剤になります。

【クログワイ】



2～3年かけて塊茎を少なくしていきましょう。

除草剤の種類や剤型によって散布可能期間が異なります。農薬を使用する際は、必ずラベルの使用基準を確認・遵守してください。